

静岡市立登呂博物館×富士山かくや姫ミュージアム 連携企画展

古墳のからめ

しずはたやまこふんてん 賤機山古墳展

「聖地」静岡の始祖、
令和の世に降臨。

2020 1月11日(土) → 3月1日(日)
令和2年

開館時間 9:00-16:30

会場 静岡市立登呂博物館 2階 特別・企画展示室

休館日 月曜日・祝日の翌日 (1/13、2/24は開館)

観覧料 一般300円 高校・大学生200円 小中学生50円

SHIZUHATA-YAMA

参加体験ミュージアム!

 静岡市立登呂博物館
Shizuoka City Toro Museum

〒422-8033
静岡県静岡市駿河区登呂五丁目10番5号
TEL.054-285-0476 FAX.054-287-1466
<http://www.shizuoka-toromuseum.jp/>



トロペー

①馬具・金銅製棘葉形杏葉 (賤機山古墳 / 静岡市教育委員会蔵)
②馬具・金銅製心葉形鏡板付轡 (賤機山古墳 / 静岡市教育委員会蔵)
③馬具・金銅製步揺付飾金具 (賤機山古墳 / 静岡市教育委員会蔵)

古墳のきらめき

賤機山古墳展

静岡市葵区宮ケ崎、静岡浅間神社地内に所在する国指定史跡・賤機山古墳（しずはたやまこふん）は、東海地方でも有数の規模を誇る古墳時代後期（約1,400年前）の古墳です。これまでの発掘調査の結果、直径約32m、高さ約7mの円形に土が盛られた円墳であり、巨大な横穴式石室、特殊な家形石棺、豪華で種類豊富な副葬品の数々が確認されました。これらの出土状況から、賤機山古墳の被葬者は、この地域を支配した首長であると考えられてきました。

今回の展示では、賤機山古墳の石室の内部構造や、石棺、副葬品などから、賤機山古墳の魅力を紹介するとともに、そこから浮かびあがる謎多き被葬者に触れていきたいと思ひます。

賤機山古墳には、古墳造営当時の最高水準の技術力や美しさへのこだわりがたくさん詰まっています。そんな古墳時代の人々が求めた「きらめき」をご堪能ください。



賤機山古墳副葬品（静岡市教育委員会蔵・静岡浅間神社蔵）



賤機山古墳外観



賤機山古墳石室内

富士山かくや姫ミュージアムとの連携企画



賤機山古墳と駿河の首長

賤機山古墳や伝法東平1号墳（富士市）に代表される両地域の古墳とその時代の様相について、各研究者の最新の学術成果をもとに迫ります。

日時：2月8日（土）13:30～16:30 参加料：無料

講師：滝沢 誠（筑波大学）・鈴木 一有（浜西市文化財課）

伊藤 寿夫（元静岡市立登呂博物館長）・佐藤 祐樹（富士市文化振興課）

会場：清水ふれあいホール（清水区旭町6-8 清水区役所3F）

申込：1月9日～2月5日 8:00～20:00 静岡市コールセンター

（TEL:054-200-4894）にて受付（先着220名）



トロペー × ふじかくちゃん ミュージアムスタンプラリー
会期中に富士山かくや姫ミュージアム企画展「東海の軍を発す一伝法東平1号墳とヒミツの武器」と当館をめぐる、2館コラボレーション記念グッズを進呈。

企画展開連イベント



賤機山古墳石室見学会

日時：1月26日（日）10:00～15:30

会場：賤機山古墳（静岡浅間神社境内地内） 参加料：無料
当日、直接現地へお越しください（申し込み不要）



1月12日（日）、2月9日（日）、2月22日（土）

会場：登呂博物館2階 特別・企画展示室
時間：11:00～11:30、14:00～14:30 参加料：無料（要観覧料）

交通・アクセス

バス

JR 静岡駅南口バスターミナル・22番乗り場より
「登呂遺跡」行 終点下車（所要時間約10分）

車

東名静岡ICから約10分

東名日本平久能山スマートICから約10分

遺跡南側に有料駐車場有り（普通車1回400円）



静岡市立登呂博物館

〒422-8033

静岡市駿河区登呂五丁目
10番5号

TEL : 054-285-0476

FAX : 054-287-1466

URL : <http://www.shizuoka-toromuseum.jp/>



（富士山かくや姫ミュージアムキャラクター）

トロペー × ふじかくちゃん ミュージアムスタンプラリー

